

THE HOSO TIMES

包装タイムス

シールとラベルの粘・接着、印刷加工に関する情報誌



季刊シール&ラベル
定価=980円(税込、送料別)
年間購読=4,000円(税・送料込)

製造業向け電動剥離機

極小・薄型ラベルも標準剥離

サトー

サトー(東京都目黒区、〒003-6665・0600)は11月25日、極小・薄型ラベルの剥離や加算・減算機能に対応した製造業向け高機能電動剥離機「RACCOON(ラクーン)F-70」を発売した。

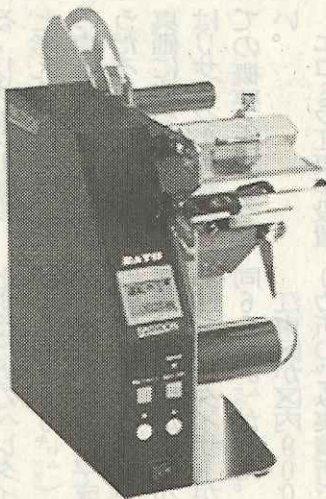
同製品は、通常の基材なら最小5×5mmという極小ラベルの剥離に対応するほか、透明PETおよびネーミング材では25mmの薄さまで剥離することができ、電動剥離機。25mmのラベルを標準剥離する電動剥離機は業界初。

数を自動的に9999枚までカウントする加算機能のほか、あらかじめ設定した枚数を剥離すると自動停止する減算機能も装備。減算機能は、ラベル貼り付け枚数を決めて行う際、高い利便性を発揮する。

自動車や電子・電気部品などFA・産業機械の製造現場では、プリンターで発行した銘板ラベルや管理用ラベル、出荷品の封止めシールなど製造から出荷に至るまで、さまざまなシール・ラベルを貼り付けるニーズがある。顧客の運用にあわせて1枚ずつ剥離する通常の動作だけでなく、毎秒15枚から100枚まで5段階の剥離速度を選択することができる。オプションとして外部機器からの信号で剥離させたり、同製品を最大3台まで連結して作業することも可能だ。

同社では、これまで小売業や食品製造販売業を対象に「シール×イットEXII」をはじめとするシール・ラベル剥離機を販売してきた。FA・産業系の市場においてもラベル貼り付けの効率化を求め、顧客のニーズを反映するがために同製品を開発した。

メーカー希望小売価格は14万8000円(税抜)、年間販売目標台数は1000台。



カウンタ搭載し加算・減算機能に対応

ヒサゴ

剥がして宛名面を分断

受取人のプライバシー保護に貢献

対応(ヒサゴのA4タックシール12面と同様の面付け)している。ラインアップは2種類で、20シート入りが1

都庁労働局 BCP連携講座を開催

包装産業企業の生田氏が講師に

震災、洪水など災害によって大きな被害を被った場合、企業の事業継続性を担保するBCP。そのBCPの中、小企業の策定推進に取り組んでいる東京都産業労働局商工経営支援

課が、11月21日に調布市文化会館たづくり(東京都調布市)で、調布市、府中市、狛江市、稲城市の4市の中、小企業を対象にBCP連携講座を行った。

講師には、主に危機管理対策のコンサルタント



BCPの取り組み意義を語る生田氏

である副島一也氏と、10月20日に「中小企業BCP策定推進フォーラム」で対象企業35社の中から最優秀賞に選ばれた生田代表取締役社長である生田治氏が招かれた。副島氏は、2011

タワダ (株)エコスを設立

環境対応製函機販売で

田博氏(タワダ専務)で、新住所は名古屋市中川区葉池町1-13、アクティブクリエント

故今安聰氏 告別式

故人偲び約800人が参列

12月1日に82歳で死去した元月桂冠副社長、今安聰氏の葬儀ならびに告別式が5日、京都市南区

委員を務めた。故人の生前の功績を讃え、通夜および葬儀告別式には親族な



葬儀・告別式の様子

トホールにてしめやかに営まれた。喪主は長男の今安章氏、今安氏は生前、月桂冠代表取締役社長、桂冠の四季醸造の構

食品包装研究協会」の立ち上げに尽力し、初代会長に就任。その前身である日本食品包装研究協会関西支部では、支部長として20年以上もの長きにわたり、展示会への出展やセミナー、研究会、工場見学会などの定期的な開催を通じて、業界の発展に努めた。

年7月で、中小企業では策定企業がいまだに6.5%しかないことを指摘し、3月11日の東日本大震災以降は経営戦略の一つとして重視されている現状を

また、生田氏は、BCP策定作業は、危機管理対策も含め社内で見直しもつなげたこと、BCP策定作業の有意性を述べた。東京都では今後都下の企業に対してBCP策定支援事業を行うべく予定だ。

マスク

3層フリーツ&スワイヤー入でピッタリフィットな簡易マスク。

株式会社 **尚美堂**

大阪本社 ● TEL(06) 6762-8761(代)
東京本社 ● TEL(03) 3847-6311(代)

移 転

業界情報